

# 〈東北・新潟の活性化応援プログラム〉 2020年 助成団体活動成果レポート

助成団体

## 高子沼を楽しむ会

福島県伊達市

プロジェクト名

### 高子二十境巡り ウォークコース案内整備(古樵丘階段整備)事業



#### ■地域の課題

伊達市保原町の高子地区では少子高齢化が進み、周囲を取り囲む里山に広がるぶどう栽培を担う農家は後継者不足で、栽培農地の耕作放棄が予測されるなど、地域の活性化が喫緊の課題となっています。

#### ■当団体の紹介

住民の高齢化と後継者不足によるぶどう栽培地の放棄が深刻化する高子地区において、定住者を獲得するため、ウォークコースや案内板の整備等を行い、地元の魅力を体感できる機会としてウォーク大会を開催し、交流人口の増加を目指しています。



## ■背景・目的は？

高子の住民有志で高子沼を楽しむ会を自主的に結成し、景勝地「高子沼」をはじめに、高子を取りまく里山の美しい景観「高子二十境」の環境美化に努め、伊達氏発祥の地である歴史的遺産や地場産業のぶどう畑を巡る春と秋に高子二十境巡りを開催し、高子の居住地としての魅力を発信し、交流人口の増加を期しています。

約8kmにおよぶ高子二十境巡りのウォークコースの除草や整備してきていますが、より安全で快適なものにするために、逐次、コース階段整備、登り旗や案内板の設置に取り組んでいます。

春と秋にウォークイベントを開催し、市外、県外からも多くの来場者を期待し、また、いつでも気軽にウォークを楽しめるようにします。

## ■具体的な活動は？

会員で約8kmのウォークコースを逐次、整備していますが、経費面から階段等の工事を必要とする整備はできず、手作業で急斜面を応急的に整備した箇所が数か所あります。安全面、景観面から階段にすることが求められていました。

この度の活性化応援プログラムの助成で、当初は、高子二十境巡りののぼり旗の作成、コースガイド葉の印刷製本をお願いしていましたが、会員で切り開いた「古樵丘」への滑りやすい急斜面に階段を設置することに変更願いをし、工事に着手しました。

地元の職人等に工事委託をし、助成金30万円を工事費に当て、できる範囲内で着工し、約34mの中央手すり付き41階段と約14mの中央手すりを2021年3月末までに整備することができました。



令和2年度事業・コース整備（古樵丘階段）



高子二十境の白雲洞への参道



白雲洞の岩谷靈窟の前で



安全なウォークコースに整備

## ■活動の成果は？

4月29日(木)「春の高子二十境と箱崎の獅子舞い巡り」、9月19日(日)「秋のぶどう収穫祭高子二十境巡り」を、上保原地域づくり振興会、上保原地区体育協会、交通安全協会上保原分会等で実行委員会を組織化し、高子沼を楽しむ会が事務局となり実施する予定でしたが、春は雨の悪天候のため、秋はコロナ感染状況から県独自の緊急事態宣言が発出され、中止せざるを得ませんでした。

実行委員会としてウォークイベントは中止としたのですが、春は雨降りにもかかわらず、また秋にはコロナ感染の恐れにありながらも、それぞれ数十人の来場者がありました。差し上げたウォークマップを手にして自主的にコースを楽しそうに歩く姿が見られました。

熊阪三代の高子二十境を詠った漢詩と谷文晁の墨絵を、実際の景観を眺望しながらの高子二十境巡りを楽しもうとする人が増えていることが実感できました。これからもコースの除草や整備に努め、ウォーク大会での受付、コース案内などの係分担をしようとする会員の意欲が喚起されました。

こうした取り組みで高子の魅力を発信し、交流人口の増加、そして定住希望者が来てくれることが期待できます。

ウォークで歩くのに危険な箇所を安全な階段に整備することができ、より気楽に安心して楽しむことができるようになりました。

今回の助成で、ウォークイベント時だけでなく、いつでも友人たちの少グループや家族で、マップを手にし、案内板を確認しながら散策のようにして、高子二十境巡りが楽しめるコースにグレードアップすることができました。

現在、阿武隈急行「高子駅」北側が、宅地開発がされ、まもなく分譲されます。市外、県外からの購入定住者も期待されます。この高子地区への新しく住民になれる方々にも高子二十境巡りを推奨していけば、高子沼や高子の里山の景観、伊達家発祥の地の歴史遺産、ぶどう栽培の地などの高子の魅力を堪能していただけたと思います。

また、伊達市の健幸都市づくり政策での「だてな健幸ポイント対象事業」や東日本JRの「小さな旅」のイベント事業に、高子二十境巡りが登録されることから、令和2年度から「高子二十境巡り実行委員会」が組織化され、地域挙げての事業として取り組まれることになりました。今回のコース整備によって、他の地区のウォークイベントに並ぶ良さを確保できました。



丹露盤の入口で



熊坂家墓所に向って



高子沼を楽しむ会の美化活動



地域挙げての活動に

## 団体からのコメント

約8kmにわたるウォークコースの中には、まだ、足下の悪い坂道、見通しの悪い分岐点等があり、一部民間会社の資材置場を通らざるをえない箇所もあります。市や県からの認定コースとして登録されるのには、これらのコース上の問題箇所を改善しなくてはなりません。

また、地域挙げてのイベント大会として盛り上げ、高子二十境巡りを楽しむ参加者をより多くなるように、さらに大会運営を改善しつつ取り組んでいきます。

本会の最大の課題は、後継者不足です。昨今、65歳で定年退職となっても、再任用等で70歳くらいまで仕事に就くようになっており、団体への加入者が減じています。後継者をどのようにして確保していくのか、知恵を出していきます。

また、高子駅北側の宅地分譲で新しく住民になれる方々に、定住地としての高子の良さを知ってもらい、協力し合って地域づくりをし、活性化を図らなければなりません。

今後の目標は以下の通りです。

1. 高子沼、高子二十境、伊達家発祥の地歴史遺産などの地域の宝の美化活動を地域住民挙げて取り組み、我が郷土を誇りに、地域の活性化に取り組むこと。
2. 漢詩を詠み、墨絵を鑑賞しながらの高子二十境巡りという他にはないウォークを、より文化の香りがするものすること。
3. 「高子ふれあい祭り」で地域の絆づくりをし、笑顔溢れる地域にしていくこと。
4. 高子二十境の絵画、漢詩の書、詩歌の創作作品を展示する「私たちの高子二十境」を継続して開催すること。

